

ひたちなか市ボランティア連絡協議会広報紙

第4号 (平成28年7月15日 発行)

# 手と手と手

【発行・編集】

ひたちなか市ボランティア連絡協議会

〒312-0041 ひたちなか市西大島3-16-1

(ひたちなか市総合福祉センター内)

電話029-274-5135 FAX029-275-0606



## 平成28年度総会



「要約筆記サークルつくし」による要約筆記もあつて参加者全員が一体となった総会と交流会になりました。

4月25日、ひたちなか市ボランティア連絡協議会の総会と全体交流会が行われました。議事では平成27年度の事業報告と決算報告および平成28年度の事業計画と予算案が提案されて承認されました。総会のあとで全体交流会が行われ「前渡フレッシユハーモニー」サークルによるハーモニー演奏などで歓談しました。

当日は、手話サークル「泉」の指導で「小さな世界」



# どんな活動をしているの？ サークル紹介



## 民謡民部連合会

連合会は19支部330名の団体で春と秋に発表大会を開催して46年になります。

主な活動は高齢者施設の訪問演芸が毎月の行事になり大変喜ばれています。

これに対応すべく月2回の合同稽古を行い芸に磨きをかけ、特技を活かし持ち味を発揮する場にもなっています。また、演芸発表会の時にはチャリティー募金をして災害時支援や善意銀行への預託など福祉活動にも協力しています。趣味を通し和と輪をつなげ仲間づくり健康づくりで明るく温かい社会づくりに生きがいを持ち会員一丸となり活動を展開していきます。(佐藤)

## ハンドトーク

今まで、聞こえない、聞こえにくい人とおしゃべりしたことはありますか。聞こえない人の暮らしや習慣には、私たちが普段行っているのとは違うことがたくさんあります。

たとえば、遠ざかる知人を呼び止めたいとき、その人が聞こえない人だったらどうでしょう。走って行って肩を叩くしかないとしたら大変ですよ。いえいえ、ほかに方法はいくつもあるのです。

手話サークル「ハンドトーク」では、言語としての手話だけでなく、聞こえない人たちが暮らしの中でどんな風に過ごしているのかなどを、聞こえない人から直接学んでいます。ハンドトークは、第2、第4火曜日の午前中に生涯学習センターで活動しています。ぜひ見学に来てください。(太田)



## 平成28年度 ボランティア連絡協議会の主な事業計画

5月	9月21日(水)	10月	11月	11月26日(土)	12月
前期環境美化と交流会	移動研修会	奉仕活動と交流会	後期環境美化と交流会	ふれあいフェスティバル	講演会

**\*皆さんの参加をお待ちしています\***

# 柏野フラッピー

「柏野フラッピー」ってな〜に? 「フラワー」+ 「ハッピー」=「フラッピー」の造語で、名付け親は会員です。

平成12年5月21日、柏野団地有志で、マラソン道路の美化を推進すべく9名で、各家庭にある植物を提供して頂くことから開始しました。

現在は柏野団地入口〜新川橋間の両側樹木柵102ヶ所を、女子14名男子18名計32名で活動

しています。活動目標は「常に緑があり、花のある、きれいなマラソン道路と遊歩道にしよう!」です。作業中に「ご苦労さん」「きれい」「ありがとう」の声を励みにして活動しています。会員は全て後期高齢者でありお互いに元気を維持し、親睦が図れるよう年2〜3回の懇親会を実施して楽しんでいます。(皆川)



## あおぞら

平成15年に那珂湊地区のメンバーで発足しました。活動は毎月1回、磯崎町にあるグループホーム「いくり苑」を訪問し、入居している方とゲームや読み聞かせなどを通して交流をしています。

12月のクリスマスには、ゲストをお迎えし、コンサートを開催しています。

これからも「いくり苑」訪問を通し、老人福祉や認知症に対する理解を深め、高齢社会で私達が出来ることを探求し、奉仕していきたいと思っています。と、志は高いのですが、実は活動はかなりゆるく、いつも楽しく行っています。

メンバー募集中!

(川又)



## ひたちなか市ボランティア連絡協議会 環境美化と交流会

ボラ連の会員と市障害者通所施設の利用者が環境美化活動を通して交流しました!

五月三十日(場所) 総合福祉センター 52名参加

センターの周辺を明るく彩る花壇の花の植え替えと、夏の日差しをさえぎるグリーンカーテンの取り付け作業を行いました。当日は雨天だったので、いつも一緒にいる勝田心身障害者福祉センター利用者の皆さんは作業に参加できませんでした。そのため交流会が中止になったのは残念でした。

五月三十一日(場所) しあわせプラザ 52名参加

心身障害者福祉センター利用者の皆さんと一緒に、プランターの花の植え替えと、畑にナスやトマトなどの苗を植える作業をしました。

畑の方は、例年は草取りが主でしたが今年は苗を植え付けたので実がなるのを身近に感じる事ができる楽しい作業でした。作業のあとで、利用者の皆さんとボランティアがセミナー室に集まって交流会をしました。



# ボランティアを してみよう

ボランティア活動を  
通して、感じた生の  
声をお届けします。



## ◆安部 純子(一歩の会)

私達一歩の会は、日常の中で指一本からできるボランティアという事で手探りで歩み始めたボランティアです。高齢者との交流、福祉施設 などの支

援活動をしてい  
ます。高齢者は外に出  
たがらないので外に  
出ようと心がけ、春  
は石川グラウンドの  
桜見、あやめ園など  
に出かけあやめを見  
て、お弁当を食へ楽  
しく一日を過ごしま  
す。

福祉施設では入所  
者の支援活動をして  
います。ある時は手  
品、ある時は歌や踊  
り、寸劇(台本はなく体当たり)  
など!戦争に行った夫の留守を  
守り、行商をして生活を支えな



がら子供達を育て  
ていた寸劇を通してう  
なづく姿!昔を思い  
出しているようです。  
私達もボランティア  
アをして皆のうれし  
い顔を見て励まされ、  
自分も元気になりま  
す。  
あれから5年が  
たった東日本の地  
震、今年は熊本の地  
震、いつ又何が起こ  
るか分からない日々  
自分の周りを見つめながらボラ  
ンティア活動を行こうと  
思います。

## ほっとひといき...

ボラ連会員コラム



まだ飛べない雀の子が巣から落ち、庭先の狭い所で鳴いていたので保護することにした。しかし、この決断は思ったより大変なことになった。今まで小鳥の親になったことがない。

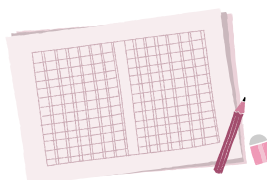
インターネットでその経験者の記録を読み、閉店間際のホームセンターで小鳥用練餌の素を買い、餌付けを始めた。最初は逃げ回っていたが、空腹に耐えきれず、遂に大きな口を開けて食べた。餌付けに成功!以降、うるさく餌を要求するようになった。

初めは高さ数十センチのふちのある段ボールの中を跳ね歩いていただけだったが、今は、このふちを飛び越えるまでになった。まだ餌をせがむ身分のくせに、自分一人で成長した様な顔をしている。子育てに失敗したかも?

大橋 (拡大写本「くるみの会」)



おとうさん  
ありがとう



## ● 編集後記 ●

執筆を依頼した会員から寄せられる原稿には、毎号ボランティアの熱意を感じます。この熱意をエネルギーにして編集会議は活気に溢れています。これからもご協力をお願いします。